

受講生満足度調査(2018年度後期)の集計結果について

調査活動WG長 青木 宏光

2018年度後期に実施された受講生満足度調査の集計結果についてご報告いたします。表1に受講生満足度調査を実施した科目数ならびに回答数(括弧内の数値)を示します。2017年度後期(180科目、回答数8574)に比べ、調査科目数が多くなっており、回答数もそれに応じて増加しております。

表2～4に授業区分毎の設問内容とそれに対する回答数を示します。

表1 受講生満足度調査を実施した科目数ならびに回答数

授業形式	共通教育	専門	計
講義	20 (1,134)	130 (7,194)	150 (8,325)
演習	5 (208)	20 (824)	25 (1,032)
実験・実習	1 (71)	22 (1,017)	23 (1,088)
計	26 (1,413)	172 (9,032)	198 (10,445)

表2 講義科目の設問と回答数

<共通・専門 (n=8325)>

	設 問	6	5	4	3	2	1	該当しない	無回答	平 均
		大変そう思う				まったくそう思わない				
1. あなたの 自己評価	Q 1. この授業にどの程度出席しましたか。	6,003	1,976	295	31	11	7	-	2	5.67
	Q 2. この授業に意欲的に取り組みましたか。	3,623	3,063	1,314	239	59	15	-	12	5.19
	Q 3. この授業の授業外学修（予習・復習等）を 1 週間で平均どの程度しましたか。	651	596	1,064	2,184	2,665	1,153	-	12	2.91
	Q 4. この授業の到達目標を達成できましたか。	2,201	2,626	2,433	806	181	55	-	23	4.69
2. 授業内容と 教員の評価	Q 5. この授業はシラバス等の内容に沿って行われましたか。	4,640	2,561	921	144	30	19	-	10	5.39
	Q 6. この授業の担当教員から授業に対する熱意を感じましたか。	4,912	2,352	829	155	48	25	-	4	5.42
	Q 7. この授業を受講して、この分野の興味を持った、または興味が増した。	3,446	2,612	1,564	472	137	89	-	5	5.02
	Q 8. 教員の説明は、丁寧に理解しやすかった。	3,988	2,512	1,247	386	123	63	-	6	5.16
	Q 9. 教員は、教材（教科書、資料、参考書など）を効果的に使用していた。	4,274	2,453	1,153	288	89	62	-	6	5.24
	Q 10. 教員は、専門分野の知見や事例を効果的に使用していた。	4,344	2,520	1,117	241	63	33	-	7	5.29
	Q 11. 板書や AV 機器を利用した教材は、見やすく、分かりやすかった。	4,069	2,345	1,220	383	113	54	131	10	5.19
	Q 12. 教員は、学生に講義への参加（質問、発言など）をうながした。	3,499	2,215	1,491	604	242	263	-	11	4.88
	Q 13. 教員は、講義中や講義時間外において、学生の質問にしっかり答えていた。	3,639	2,087	1,259	293	98	29	911	9	5.19
	Q 14. 教員は、予習や復習、事後学修のための指示や助言を適切に行っていた。	3,884	2,516	1,372	365	113	70	-	5	5.14
	Q 15. 教員は、教室を静かに保つ配慮をしていた。	4,723	2,369	973	184	38	25	-	13	5.38
	3. 総合評価	Q 16. 総合的に考えて、この講義を受講してよかったと思いますか。	4,400	2,337	980	207	65	43	-	293

表3 演習科目の設問と回答数

<共通・専門 (n=1032)>

	設 問	6	5	4	3	2	1	該当しない	無回答	平 均
		大変そう思う				まったくそう思わない				
1. あなたの 自己評価	Q 1. この授業にどの程度出席しましたか。	798 100%	205 80-99%	23 60-79%	4 40-59%	2 20-39%	0 <20%	-	0	5.74
	Q 2. 班を構成する人数は適切でしたか。	-	-	-	147 多い	636 適当	10 少ない	231	8	2.17
	Q 3. 班で取り組む演習では各人が適切な役割分担をした。	403	246	114	32	6	2	222	7	5.25
	Q 4. この授業に意欲的に取り組みましたか。	546	335	122	22	4	1	-	2	5.35
	Q 5. この授業の授業外学修（予習・復習等）を 1 週間で平均どの程度しましたか。	127 >4h	92 3-4h	152 2-3h	247 1-2h	279 <1h	134 0h	-	1	3.16
2. 授業内容と 教員の評価	Q 6. 演習内容をよく理解できましたか。	353	390	222	50	12	5	-	0	4.98
	Q 7. この授業を受講して、この分野の興味を持った、または興味が増した。	351	348	228	76	15	14	-	0	4.87
	Q 8. 教員は演習の目的や内容を適切に説明していた。	494	321	160	40	10	5	-	2	5.20
	Q 9. 演習に対する教員の助言および指導は適切であった。	515	314	141	44	14	4	-	0	5.22
	Q10. 演習課題に対する教員の助言および指導は適切であった。	494	305	156	44	16	4	11	2	5.18
	Q11. 指導書（教科書、教材）の内容は適切であった。	478	313	167	34	10	2	27	1	5.20
	Q12. 教員は、専門分野の知識・技術を適切に伝えていた。	532	309	131	44	11	3	-	2	5.26
	Q13. 教員は演習中や研究室において、学生の質問にしっかり答えていた。	535	274	123	24	6	4	65	1	5.34
	Q14. 教員は、予習や復習、事後学修のための指示や助言を適切に行っていた。	508	313	146	27	12	4	22	0	5.25
3. 総合評価	Q15. 総合的に考えて、この演習を受講してよかったと思いますか。	541	274	140	40	8	6	-	23	5.27

表4 実験・実習科目の設問と回答数

<共通・専門 (n=1088)>

	設問	6	5	4	3	2	1	該当しない	無回答	平 均	
		大変そう思う			まったくそう思わない						
1. あなたの自己評価	Q 1. この授業にどの程度出席しましたか。	999	84	5	0	0	0	-	0	5.91	
		100%	80-99%	60-79%	40-59%	20-39%	<20%				
	Q 2. 班を構成する人数は適切でしたか。	-	-	-	164 多い	885 適当	9 少ない	15	15	2.15	
	Q 3. 班で取り組む実験では各人が適切な役割分担をした。	554	326	138	32	6	2	28	2	5.31	
	Q 4. この授業に意欲的に取り組みましたか。	686	304	87	6	2	1	-	2	5.53	
2. 授業内容と教員の評価	Q 5. この授業の授業外学修（予習・復習等）を1週間で平均どの程度しましたか。	154 >4h	123 3-4h	243 2-3h	288 1-2h	233 <1h	45 0h	-	2	3.58	
	Q 6. 実験内容をよく理解できましたか。	466	404	195	19	3	1	-	0	5.20	
	Q 7. この授業を受講して、この分野の興味を持った、または興味が増した。	510	369	173	26	5	5	-	0	5.23	
	Q 8. 教員は実験の目的や内容を適切に説明していた。	649	338	86	13	1	1	-	0	5.49	
	Q 9. 実験に対する教員の助言および指導は適切であった。	647	339	87	12	2	1	-	0	5.48	
	Q10. 実験レポートに対する教員の助言および指導は適切であった。	624	339	94	21	3	1	5	1	5.44	
	Q11. 指導書（教科書、教材）の内容は適切であった。	601	335	122	14	1	2	13	0	5.41	
	Q12. 教員は、専門分野の知識・技術を適切に伝えていた。	672	335	67	10	1	1	-	2	5.53	
	Q13. 教員は実験中や授業外において、学生の質問にしっかり答えていた。	712	287	64	7	2	1	15	0	5.58	
	Q14. 教員は、予習や復習、事後学修のための指示や助言を適切に行っていた。	631	345	87	16	2	1	6	0	5.46	
	3. 総合評価	Q15. 総合的に考えて、この実験を受講してよかったと思いますか。	721	271	59	9	1	1	-	26	5.60

次に2015年度前期から2018年度後期までの過去4年間における平均値の推移を授業区分毎に分けて示します。図1～3はこれらのデータを図示したものです。質問項目によっては平均値が小さいものがあり、これは図の右側の軸で表記しています（凡例に矢印付きで表記）。

表5 講義科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

設 問 概 要	2015前期 (n=10163)	2015後期 (n=9181)	2016前期 (n=9318)	2016後期 (n=7249)	2017前期 (n=8330)	2017後期 (n=6926)	2018前期 (n=8667)	2018後期 (n=8325)
Q 1. 講義への出席率	5.68	5.64	5.70	5.66	5.72	5.65	5.73	5.67
Q 2. 授業に意欲的に取り組んだ	5.12	5.11	5.13	5.13	5.19	5.18	5.21	5.19
Q 3. 授業の授業外学修（予習・復習等）の時間	2.72	2.72	2.70	2.71	2.90	2.81	2.92	2.91
Q 4. 授業の到達目標を達成できた	4.50	4.53	4.49	4.54	4.60	4.65	4.65	4.69
Q 5. 授業はシラバスに沿って行われた	5.27	5.31	5.29	5.31	5.35	5.37	5.37	5.39
Q 6. 教員の授業に対する熱意を感じた	5.34	5.35	5.37	5.39	5.40	5.44	5.42	5.42
Q 7. 講義を受けて興味が増した	4.93	4.92	4.97	4.92	5.02	5.03	5.04	5.02
Q 8. 説明は理解しやすかった	5.04	5.05	5.08	5.06	5.12	5.16	5.15	5.16
Q 9. 教材を効果的に使用していた	5.06	5.13	5.09	5.16	5.18	5.22	5.16	5.24
Q10. 専門の知見や事例を効果的に使用していた	5.14	5.17	5.18	5.21	5.27	5.28	5.27	5.29
Q11. 板書やAV教材は見やすかった	5.03	5.04	5.05	5.05	5.13	5.17	5.14	5.19
Q12. 講義への参加を促した	4.76	4.86	4.79	4.81	4.84	4.88	4.82	4.88
Q13. 質問にしっかり答えた	5.03	5.06	5.07	5.11	5.11	5.17	5.14	5.19
Q14. 予習・復習の指示や助言は適切だった	4.92	4.98	4.95	5.05	5.07	5.11	5.11	5.14
Q15. 教室を静かに保つ配慮をした	5.21	5.24	5.23	5.28	5.29	5.35	5.36	5.38
Q16. この講義を受講してよかった	5.27	5.25	5.30	5.26	5.31	5.33	5.34	5.33

表6 演習科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

設 問 概 要	2015 前期 (n=1516)	2015 後期 (n=877)	2016 前期 (n=1307)	2016 後期 (n=961)	2017 前期 (n=1559)	2017 後期 (n=669)	2018 前期 (n=888)	2018 前期 (n=1032)
Q 1. 演習への出席率	5.75	5.78	5.83	5.79	5.87	5.66	5.83	5.74
Q 2. 班の構成人数は適切だった	2.18	2.17	2.19	2.10	2.12	2.13	2.14	2.17
Q 3. 班で各人が適切な役割分担をした	4.84	4.94	4.97	5.10	5.09	4.98	5.11	5.25
Q 4. 授業に意欲的に取り組んだ	5.20	5.24	5.26	5.33	5.38	5.29	5.33	5.35
Q 5. 授業の授業外学修（予習・復習等）の時間	2.53	2.85	2.87	3.18	3.32	2.91	3.34	3.16
Q 6. 演習内容をよく理解できた	4.83	4.81	4.93	4.79	4.97	4.92	4.99	4.98
Q 7. 演習を行って興味が増した	4.79	4.80	4.82	4.89	4.92	4.87	4.87	4.87
Q 8. 演習の目的や内容を適切に説明していた	5.10	5.08	5.13	5.13	5.22	5.20	5.18	5.20
Q 9. 演習に対する助言・指導は適切であった	5.12	5.09	5.12	5.17	5.20	5.23	5.20	5.22
Q10. 演習課題への助言・指導は適切であった	5.09	5.08	5.13	5.15	5.10	5.20	5.18	5.18
Q11. 指導書の内容は適切であった	5.11	4.98	5.14	5.17	5.22	5.13	5.26	5.20
Q12. 専門の知識・技術を適切に伝えていた	5.18	5.17	5.21	5.25	5.28	5.27	5.28	5.26
Q13. 質問にしっかり答えた	5.20	5.18	5.19	5.24	5.19	5.24	5.22	5.34
Q14. 予習・復習の指示や助言は適切だった	5.02	5.03	5.07	5.17	5.18	5.18	5.18	5.25
Q15. この演習を受講してよかった	5.30	5.26	5.30	5.30	5.36	5.33	5.31	5.27

表7 実験・実習科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

設 問 概 要	2015 前期 (n=315)	2015 後期 (n=757)	2016 前期 (n=674)	2016 後期 (n=649)	2017 前期 (n=375)	2017 後期 (n=979)	2018 前期 (n=346)	2018 後期 (n=1088)
Q 1. 実験への出席率	5.90	5.89	5.92	5.91	5.90	5.89	5.91	5.91
Q 2. 班の構成人数は適切だった	2.17	2.15	2.19	2.19	2.18	2.17	2.15	2.15
Q 3. 班で各人が適切な役割分担をした	5.08	5.21	5.17	5.23	5.22	5.24	5.24	5.31
Q 4. 授業に意欲的に取り組んだ	5.51	5.52	5.42	5.54	5.53	5.51	5.52	5.53
Q 5. 授業の授業外学修（予習・復習等）の時間	3.34	3.34	3.40	3.45	3.59	3.47	3.68	3.58
Q 6. 実験内容をよく理解できた	4.88	5.01	4.88	5.16	5.08	5.11	4.96	5.20
Q 7. 実験を行って興味が増した	5.34	5.12	5.10	5.33	5.27	5.18	5.07	5.23
Q 8. 実験の目的や内容を適切に説明していた	5.38	5.31	5.22	5.45	5.37	5.33	5.30	5.49
Q 9. 実験に対する助言・指導は適切であった	5.47	5.34	5.29	5.48	5.36	5.34	5.36	5.48
Q10. 実験レポートへの助言・指導は適切であった	5.29	5.25	5.20	5.35	5.23	5.31	5.29	5.44
Q11. 指導書の内容は適切であった。	5.30	5.28	5.27	5.36	5.28	5.28	5.25	5.41
Q12. 専門の知識・技術を適切に伝えていた	5.49	5.39	5.33	5.51	5.44	5.40	5.47	5.53
Q13. 質問にしっかり答えた	5.56	5.40	5.36	5.52	5.50	5.45	5.44	5.58
Q14. 予習・復習の指示や助言は適切だった	5.40	5.31	5.24	5.37	5.33	5.34	5.37	5.46
Q15. この実験を受講してよかった	5.65	5.53	5.47	5.68	5.61	5.53	5.47	5.60

図1 講義科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

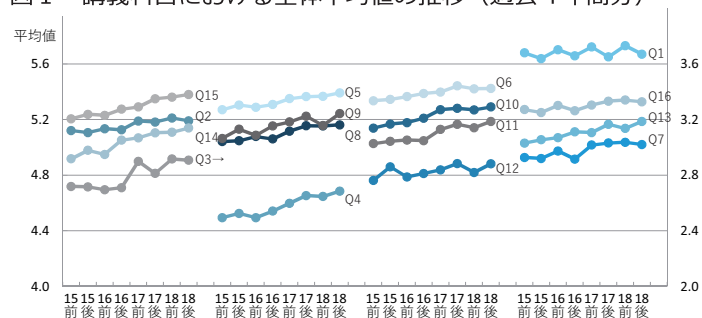


図2 演習科目における全体平均値の推移（過去4年間分）

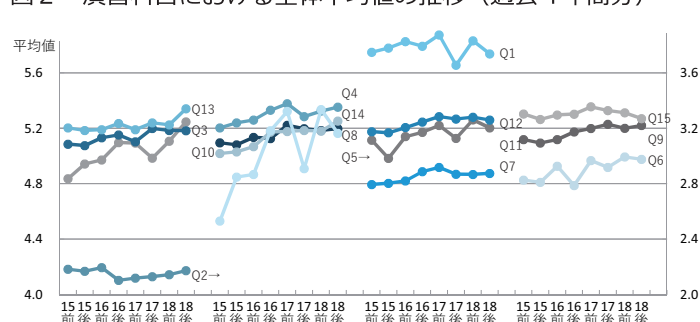
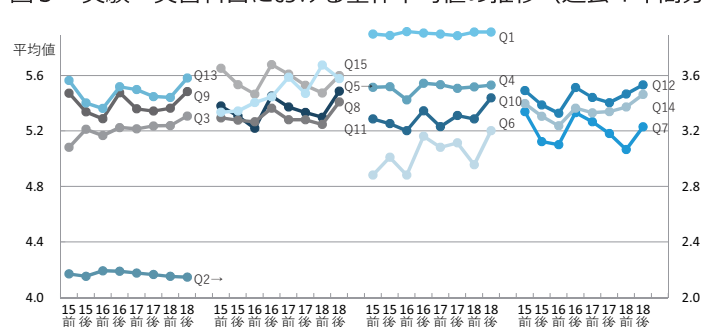


図3 実験・実習科目における全体平均値の推移（過去4年間分）



最後に、授業外学修時間の推定値を示します。授業外学修に関する設問で回答1：0時間、2：0.5時間、3：1.5時間、4：2.5時間、5：3.5時間、6：4.5時間と仮定して、回答数から平均の授業外学修時間を算定しました。また、授業外学修が1時間未満の学生の割合を授業区分毎にまとめ、過去4年間の推移を示しました。

表8 授業外学修時間の推定値（単位：時間、過去4年間）

	2015前期	2015後期	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期
講義	1.30	1.30	1.28	1.29	1.45	1.39	1.48	1.48
演習	1.14	1.43	1.45	1.74	1.87	1.48	1.88	1.73
実験・実習	1.85	1.86	1.92	1.96	2.10	2.00	2.20	2.10

表9 授業外学修が1時間未満の学生の割合（過去4年間）

	授業外学修	2015前期	2015後期	2016前期	2016後期	2017前期	2017後期	2018前期	2018後期
講義	0h	16.0%	16.5%	16.5%	16.3%	11.0%	15.3%	12.2%	13.9%
	0-1h	35.3%	35.6%	36.4%	35.8%	34.1%	33.8%	33.0%	32.1%
演習	0h	22.2%	16.5%	15.7%	10.4%	10.2%	14.1%	8.9%	13.0%
	0-1h	33.2%	29.5%	30.1%	25.1%	24.7%	31.3%	22.9%	27.1%
実験・実習	0h	3.8%	2.9%	2.5%	3.1%	3.2%	6.0%	4.1%	4.1%
	0-1h	23.5%	17.8%	24.8%	22.7%	20.3%	21.7%	18.0%	21.5%

図4 授業外学修時間（推定値）の推移（過去4年間）

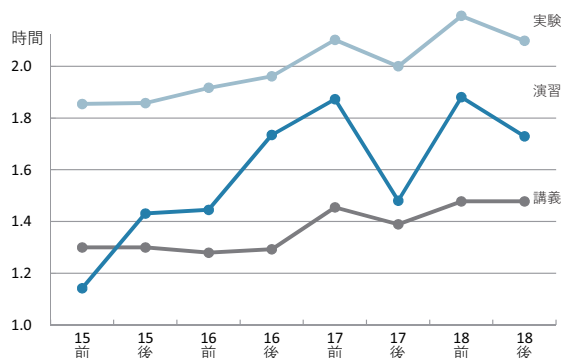
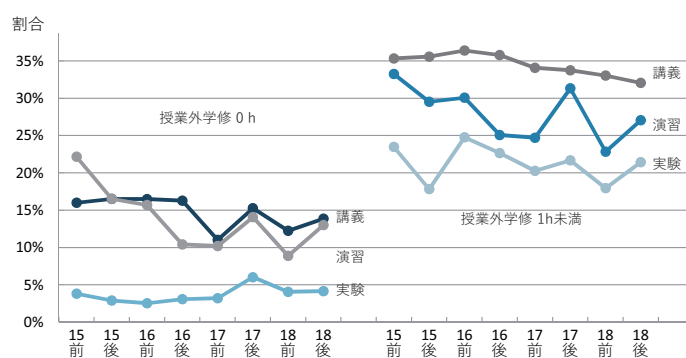


図5 授業外学修時間が1時間未満の学生の割合



講義科目、演習科目共に設問に対する回答の平均値は依然として上昇傾向にあり、学生の学修スタイル・ニーズに合わせようと教員が継続的に努力していることが窺えます。実験・実習科目に関しては元々平均値が高いため、ほぼ横ばいという状況です。

平均の授業外学修時間も少しずつ延長されているように思えますが、授業外学修時間が0時間と答えた学生が、講義・演習科目に関しましては、13%、つまり、7人に1人います（表9）。一方で、2時間以上勉強している、と答えた学生は講義科目で28%（表2）、演習科目では36%（表3）います。

これは私自身の経験ですが、新カリキュラムに変わり、初めて開講した演習科目において、シラバスに予習の指示をしたものの、アンケート結果を見ると、授業外学修1時間以内がほとんどで、まったく勉強しないという学生も1/4おりました。我々教員は、授業では体系的に話をしており、学生はそのうちの重要な部分を理解する、と考えがちです。しかし、授業で説明したからと言って、全ての学生がその内容を理解し、実践できるようになるか、と言え、そうでないことを経験しています。これを「教授錯覚」と言います。授業中に説明したことでさえ、それが出来るようになる保証はないのですから、WEBのシラバスに記載したからと言って、わざわざそれを見に行き、実行してくれる学生もそれほど多くはいないのでしょう。そこで、翌年度は事前に課題を渡して、授業日に提出させチェックする形に変更しました。その結果、授業外学修時間が0の学生はいなくなり、ほとんどの学生が2時間以上勉強するようになりました。

科目毎のデータは閲覧できないため、あくまで推察ですが、勉強しない学生の天性の「やる気のなさ」ではなく、「勉強しなくてもすむ」という授業内容、あるいは成績評価方法に問題があるのではないかと考えています。例えば、先ほど紹介した授業時間外の学修課題を設定する方法は、授業外学修時間を確保する有効な解決方法だと思います。教員の負担を考えると、担当科目数、受講生数が多ければ実施することは難しいことは理解できます。しかし、単位制度の実質化および成績評価の厳格化が高等教育の質保証に直結している現状では、授業外学修時間を確保させる努力をすることは教員にとって実現しなければいけない課題であると考えます。学生が自主的に学修するような環境作りを、大学全体で考えていかなければならない時期に来ていると感じています。

